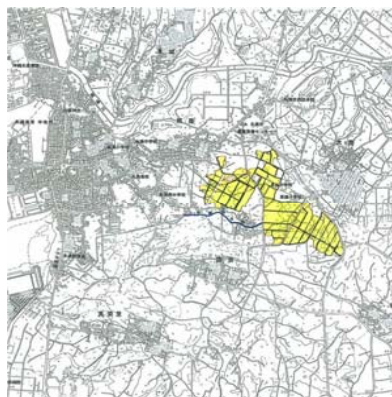


《県営畑地帯総合整備事業》

糸満市大里南地区

地区の概要

本地区は、沖縄本島南部の糸満市中心部市街地の近隣に位置し、島尻マーヅ・ジャーガル土壌が錯綜する地域である。現況は農業用排水路、農道が未整備で耕地は狭小、不成形で起伏があるため、営農機械の導入も困難で、農作物の搬出時にも著しく支障を来していた。このため、本事業を実施した結果、排水の被害が解消され、農作業車の利便性も図られた。主な作物はサトウキビである。



地区位置図

事業概要

- | | |
|---------|-------------------------------|
| 1) 受益面積 | 31.3ha |
| 2) 施設概要 | 幹線排水路 L=714m
区画整理 A=31.3ha |
| 3) 総事業費 | 11億8,050万円 |
| 4) 工期 | 平成4～12年度 |

農業生産基盤の進展

糸満市でも純農村地域の様相の濃い南部地域に位置する本地区は、地下水を水源とする 国営本島南部地区の受益地で、上記のようなほ場条件の改善整備を推進すべく、当事業で平成4年度～12年度に整備が完了したものである。

畑かん事業については元気な地域づくり(畑地かんがい型)で平成16年度から整備が取り組まれ、平成21年度に完了する計画である。



記念碑



施工前

施工中

事業実施の効果

作目名	(単位:ha)	
	事業前(H4)	事業後(H18)
サトウキビ	19.3	22.5
サヤインゲン	12.0	0
キク		1.8
ニンジン		1.5
マンゴー		0.2
ゴボウ		0.8
牧草		0.5
その他		4.0
合計	31.3	31.3

営農の機械化

県営畑地帯総合整備事業(ほ場整備)の効果として大きいのは、区画整理により営農の機械化が図られたことが大きい。

作物の転換

適正な耕土(質・深さ)の確保に伴い、比較的深根性のゴボウなどが導入されたことなどの作目拡大の効果が上がった。

施設整備による災害防止

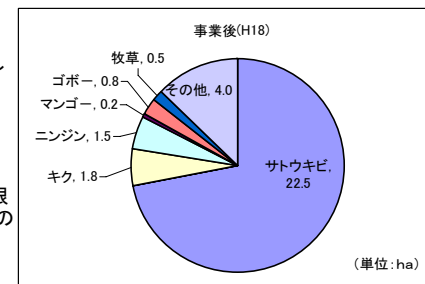
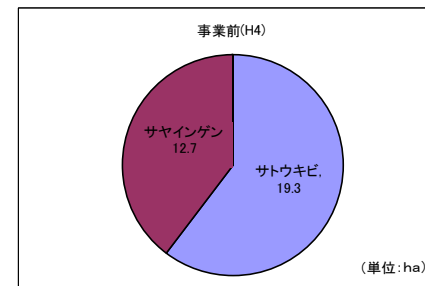
農業用排水路の整備による湛水被害の防止により単に農業生産のみならず、周辺環境保全に与える効果も大きい。

今後の農業の展開

写真は、本地区の畑地帯総合整備事業完了後、実施されている営農状況である。前段で紹介したように、本地区の立地が、糸満市街地に近いこと、また近年の道路交通網の整備により大消費地である県都那覇市へのアクセスも容易になったこと、また、ニンジン等で示しているように、糸満市当局をはじめとした営農支援組織の活動も活発な状況が見受けられることから、今後も都市近郊型農業の進展が大きく期待される。



マンゴー栽培状況



キク栽培状況



ニンジン栽培状況